

6月定例会

曾於市出身者の応援を！



◎ 条 例

☆曾於市思いやりふるさと寄附条例の制定

(賛成 全会一致)

ふるさと納税制度の創設に伴い、曾於市を応援して頂く人々に広く寄附金を募り、寄附者の意向を反映して、個性豊かで活力あふれるふるさとづくりを進めるための条例を可決しました。

寄附金は次に掲げる事業にあてられます。

- (1) 活力あふれるふるさとづくりに関する事業
- (2) 少子高齢化及び定住対策に関する事業
- (3) 福祉及び医療に関する事業
- (4) 教育、文化及びスポーツの振興に関する事業

6月定例会は、6月10日に開会し、6月26日に閉会しました。今議会では、曾於市思いやりふるさと基金条例の制定や平成20年度予算の補正に関するもの他19件、教育予算の拡充を求める意見書の採択要請1件、農業農村整備事業の直轄事業存続に関する意見書など発議2件を審議可決・採択しました。

ツの振興に関する事業

(5) 地場産業の振興に関する事業

(6) 環境の整備に関する事業

☆曾於市思いやりふるさと基金条例の制定

(賛成 全会一致)

曾於市思いやりふるさと寄附で寄せられた寄附金を適正に管理し、運用していくために曾於市思いやりふるさと基金を設置する条例を可決しました。



将来を担う子どもたち（末吉町穂幼児学園）

☆曾於市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定

(賛成 全会一致)

市職員による不正事件に関し、管理監督者としての責任を明確にし、平成20年7月1日より9月30日までの3カ月間、市長の給与を40%、副市長の給与を30%減額するものです。

曾於市思いやりふるさと寄附条例制定 ～郷土への思いをかたちに～



◎ 予算

☆平成20年度曾於市一般
会計予算の補正
(賛成 全会一致)

今回の補正予算は、
1億114万6千円の
追加で、累計予算は
205億114万6千円
となりました。

主な事業は、大川原交
換局、坂元交換局のプ
ロードバンドゼロ地域解
消事業が2,400万円、
大隅支所駐車場改修工事

440万円、税源移譲

に伴う19年度住民税還
付のための過年度市税
還付金3,494万8千

円、後期高齢者被保険
者に対する葬祭費補助
金360万円、合併に伴
う合併森林組合経営基

盤強化・育成事業補助金
900万円、共済負担率
の増と人事異動に伴う職
員給3,323万7千円
の追加と人事異動に伴う

公共下水道事
業特別会計に
繰り出し金1,
262万4千
円の減額が措
置されていま
す。



曾於市の林業を担う組合職員

陳情・意見書

陳情「教育予算の拡充
を求める意見書の採択要
請について」は採択、「国
による公的森林整備の推
進と国有林事業の健全化
を求める意見書の採択要
請」は文書配付となりま
した。なお、議員発議に
よる意見書は次のとおり
可決されました。

1. 農業農村整備事業の
直轄事業存続に関する
意見書

(提案理由) 平成19年
5月「地方分権改革推進
に当たっての基本的な考
え方」において、国の出
先機関等の廃止・縮小の
方針が打ち出されたため、
曾於地域のような広域食
糧供給地帯における大規
模な基盤整備等も国が主
導して行い直轄事業制度
と要員の確保を図ること。

2. 教育予算確保に関す
る意見書

(提案理由) 地方の厳
しい財政状況等により、
教育条件の自治体間格差
が拡がりをみせており、

将来を担う子どもたちに
等しく良質な教育を受け
させるため、教育予算を
国全体として確保を充実
させる必要があるため。



九州農政局曾於北部農業水利事業所 (財部町)

人権擁護委員 の承認

人権擁護委員候補者を
推薦するため、議会に意
見が求められ適任とされ
ました。

山内千代子氏 65歳

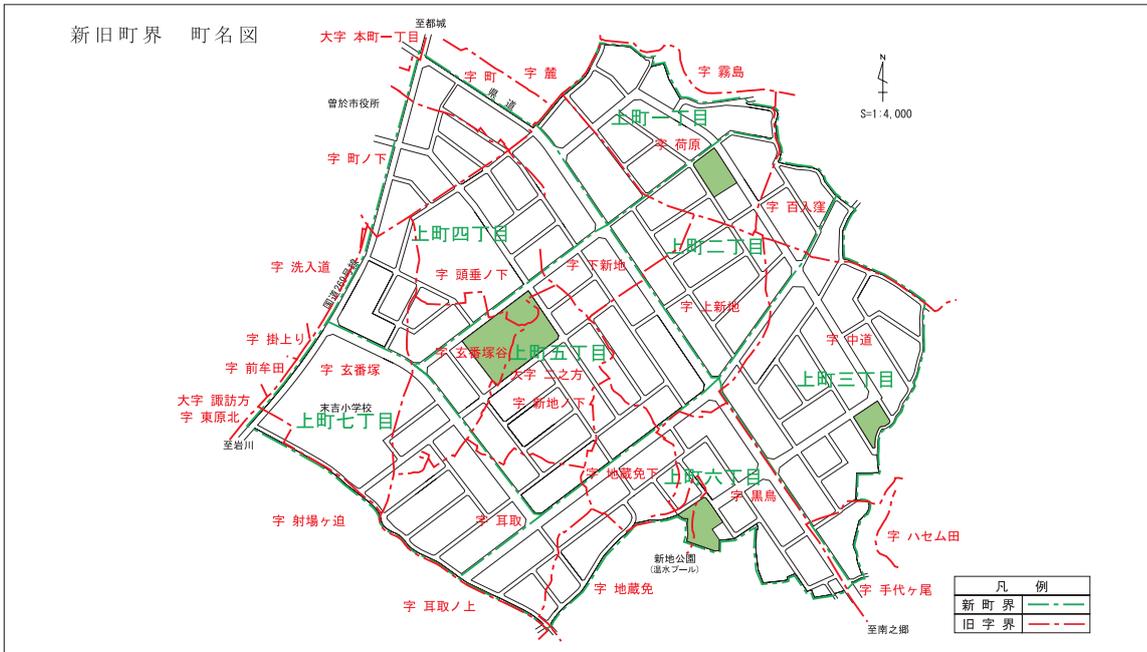
(末吉町岩崎)

☆町の名称設定

(賛成 全云一致)

末吉都市計画事業上町

土地区画整理事業の完了に伴い、名称がかわります。



☆辺地に係る公共的施設
総合整備計画

(賛成 全云一致)

○財部町古井・荒川内辺地

本市北西部の霧島市境に位置します。

この地区の道路は集落を結ぶ幹線道路及び畑、水田等に通じる道路で利用度が多いが、幅員が狭く急カーブ等が多いため交通に多大な支障をきたしています。この市道を改良舗装するものです。

○末吉町平沢津辺地

末吉町東部に位置し、宮崎県都城市と大淀川を境に接した純農山村地帯です。

地域内を市道石之脇・平沢津線が石之脇集落へ通じ、石之脇集落から市道柿木下・石之脇線を経由して中学校への通学路として、地域にとって非常に重要な路線です。幅員が狭く、急カーブ急勾配の未整備市道であるため市道を改良舗装するものです。

概況	人口	面積	整備計画期間	施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策債の予定額
							特定財源	一般財源	
財部町古井・荒川内辺地	186人	1.4km ²	平成20年～平成23年度	道路	曾於市	4,005万円	-	4,005万円	3,940万円
末吉町平沢津辺地	54人	2.1km ²	平成20年～平成24年度	道路	曾於市	2億3,050万円	-	2億3,050万円	2億2,960万円



財部町古井・荒川内辺地



末吉町平沢津辺地



改良計画のある財部駅前通り（財部停車場線）

☆曾於市過疎地域自立促進計画

（賛成 全会一致）

平成17年度から21年度までの曾於市過疎地域自立促進計画を変更するもので、事業名変更が主なものです。

	事業名	事業内容	事業主体	備考
産業の振興	農業	県営畑地帯総合整備事業 第3曾於北部地区(626ha)	県	中止 (平成22年度以降に計画)
		元気な地域づくり整備事業(田尻地区) A=5.0ha	市	中止 (平成22年度以降に計画)
		中山間地域総合整備事業(大隅地区) 農道・用排水施設	県	自立促進施策区分の変更
		特殊農地保全整備事業負担金曾於北部地区	県	追加
	林業	生産機械施設整備事業 木材生産流通管理システム1式 ・バックハウ、プロセッサ1台	森林組合	追加
交通通信体系の整備	林道	森林管理道開設事業(白鹿岳支線) L=1,400m W=3.5m	県	事業主体の変更
	その他	県単道路整備事業負担金 飯野松山都城線 L=2,100m(舗装)	県	追加
		ふれあいとゆとりの道づくり事業負担金 財部停車場線(歩道舗装)	県	追加
生活環境の整備	その他	急傾斜地崩壊対策事業負担金(土成地区)	県	追加
教育の振興	学校教育関連施設 その他の施設校舎	小学校特別教室棟改修事業 財部小(屋根等塗装) 1,230㎡	市	中止 (平成22年度以降に計画)